

たいよう

発行所
太洋基礎工業株式会社
たいよう新聞委員会

最前線レポート

工事件名

平成二八年度防災・安全

交付金(街路)工事

(都) 高田若槻線長野市

桐原吉田2工区

対象土質

砂質シルト・砂質土・砂礫土

工事場所

長野県長野市桐原

発注者

長野県長野市地方事務所

請負者

北信土建(株)(元請)

(株) 本久(二次)

工事内容

鋼製地中連続壁工

(TRDⅢ型)

壁幅 W 二六〇〇mm

壁延長 L 二二九九・七五m

壁面積

N 二二四九・七五m²

掘削深 H 二八・五〇m

建込鋼材

NS・BOX

(GH・R三九一×九

×一〇×一〇)

SM四〇〇

L 二二・五〇m

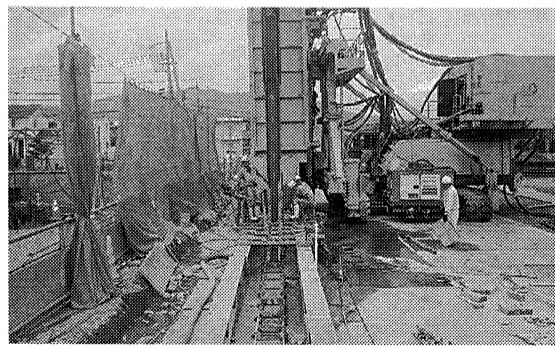
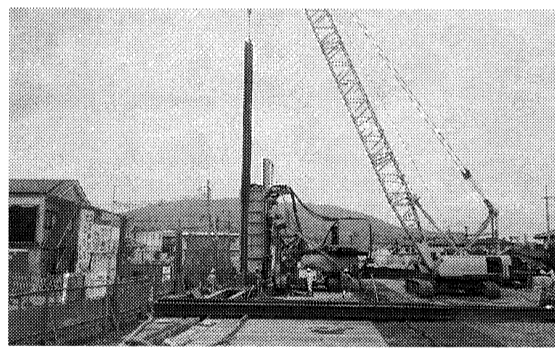
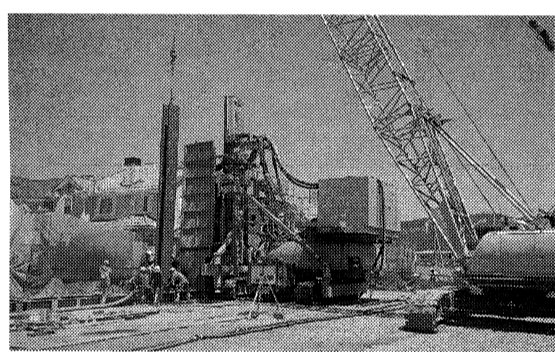
×二二・五〇m

H 三九〇×三〇〇

×一〇×一六

当現場は、北長野周辺地区の道路ネットワークの整備が十分なこともあり、通過交通の流入により当該地区において慢性的な渋滞が発生している中、このような交通状況を解消するため、県では平成一九年度より桐原路線橋から吉田高校東交差点間の都市計画道路整備に着手し、長野電鉄との立体交差工事を進める一環として軌道下の函体から南北へ延びるアンダーパスの連続壁造成で計画・着手しました。

対象土質は昔、浅川の氾濫からN値五〜五〇の砂質シルト・砂質土・砂礫土からの互層が分布しています。今回自分は掘削時フロー一八〇mm〜二〇〇mm、造成時フロー二〇〇mm〜二三〇mmで芯材が高止まりすることなく建込めると把握するまで時間がかかり、気泡掘削におけるフロー値の維持・管理に苦勞しました。また施工当初は、NS・BOXという初めての特殊な芯材建込において試行錯誤の日々でした。現場の作業員の方々と日々話し合い、建込時間の早期化は元より建込定規の改良、



建込んだ芯材の鉛直精度向上にも注意して作業を行いました。着まもなくして、終点部に前工事の軌道下部函体工事時に施工した一三・七mmのグラウンドアンカーが掘削法線センターから四〇〇mmの位置に残地されており、GL一五・〇mまで四段既存している事が判明し、φ二〇〇mm鋼製ケーシング工法にて直接掘削・除去しました。

また、掘削終点部は函体の基礎コンクリートφ三〇〇mmが連壁方向に長さ五〇〇mmで張り出している事から、ダウンザホール工法にて地上から基礎コンクリートを破碎しました。一〇m下のコンクリートを破碎するのに鉛直精度を上げるため、φ一五〇mmのケーシングを一〇m分四セット用意し、隣の打設したケーシングに沿わせて次ケーシングをセットさせました。施工ヤードも横断道路にて分断され一七〇〇mと狭い中、TRD・鋼製ケーシング・ダウンザホール

の三班並行作業は大型重機が密集し危険でしたが、KY活動を始め各職長の密な打ち合わせから無事故で作業を行うことができました。

また、TRD施工に関して経験が浅い自分ですが、神守研究開発センター、東京支店等、皆様から多大なるご指導を頂き、無事一工区を施工完了できました。

二工区目も九月から乗り込み、一〇月三十一日で施工完了しました。二工区目においては発注者様の長野県建設事務所主催で建設事務所技術者の方四〇名、長野県土木管理技士会の方六〇名で現場見学会も行い、長野県内でTRD工法をPRできたと思えます。

来年より三工区目が施工開始予定ですが、これまで学んだ経験を活かし、良品質・無事故・無災害で施工に望んでいきます。

長野支店 工事部
係長 碓田 美洋

声援

皆様、お疲れ様です。いかがお過ごしでしょうか。寒さも日に日に寒くなつてきています。体調を崩されてはいませんか。

さて、時の経つのも早いもので今年もあと残すところ一カ月、五一期も二カ月となりました。元日も五一期の始まりも、ついこの間の様に思われます。皆様この年頭に立てられた目標は達成されましたでしょうか。名古屋支店は受注・完工目標とも若干下回っています。しかし、まだ二カ月残っていますのでラストスパートを駆け、受注・完工とも目標達成に向けて名古屋支店社員一同頑張つて参りますので

ご支援の程よろしくお願ひします。名古屋支店の今期の大型工事である環境部の鳥羽の太陽光発電設備設置工事(二五メガ)ですが、夏の時点で大幅に遅れておりましたが、亀川組・尾頭一二次会社並びにその協力会社の増員及び努力のおかげを持ちまして約七〇パーセント完成し、当初計画の来年一月末完工予定に近づいて来ていますが、増工事もあり工事完工は来年二月にずれ込む予定です。

名古屋支店の変化としましては、当社創業から五九年間、地面の下の土木工事を主体に工事を手掛けて参りましたが、土木工事のみではなかなか受注が伸びません。豊住清取締役建築部長を筆頭に中井・佐々木両氏のベテランを交えて三人で

建築部を立ち上げる事になりました。発足して十カ月が経ち少しくづつではありますが、成果が出てきております。新築工事が二件、リフォーム工事が六件の合計八件の受注ができました。受注金額は目標額には程遠いですが、土木工事主体で来た会社の初年度としましては、健闘していると思えます。大型の新築工事の見積りにも参加もしていますので、近いうちに大型物件も受注できると思つています。読者の方で小さくても構いませんので、新築・リフォーム等をお考えの方はご用命を頂ければ幸いです。

安全の面では、労災事故を三件も起こしてしまいました。交通事故は一件と、例年に比べ少なくはなつております。これから、年末・年度末に向けて忙しくなつ

取締役名古屋支店長
高田 哲夫



暑い暑いと言っている内に秋になり、あつという間に朝夕すっかり寒くなり冬仕立での出勤になりました。漢詩に一寸の光陰軽んずべからずとありますが、日々精進しなくてはと教えられる季節です。低迷していた株価、急速に上げに転じています。当社のお客様様建設業界も上がり、インフラ整備、オリンピック、リニア、都市再開発等、目立つ社会環境もあり当然のごとく値を上げ、元気が多く各社職場のモチベーションも上がっています。政府は物価上昇を望んでいますが、国民一人ひとりに問えば物価の上がる事を望む人は果たしているのだろうかと思えてなりません。株価上昇は種々経済指標に効く結果となり歓迎するところ

・パナソニック、東京の中堅建設会社松村組買収、子会社パナホーム戸建住宅低中層マンション中心に販売して参りましたが、一〇階建て以上の建設の実績を持つ松村組とのシナジー効果は魅力的と表しています。建設業として人材確保は最重要課題、創業一三三年蓄積してきた高い施工技術を持つ川上企業を家電メーカーが傘下に持つという有意義性、パナソニックは良い買い物をしたと思えてなりません。

・住友林業、インドネシアで戸建分譲住宅販売に参入。
・みずほFG、住宅ローン地方撤退。建設業は常に時代のニーズを先取りした経営が必要。当社としてはこの一〇月に地中埋設物撤去工事対応に新鋭機が納入されました。待ちに待った新鋭機です。SAP広告大きな会社より憧れの会社になりたい。スケールメリットだけでは勝てない時代。夢と希望のある職場づくりを進めましょう。

顧問 豊住 満

事業所だより

熊本営業所

朝夕は肌寒く、昼は一転、気温が上がりましたが、残暑が残る、熊本営業所から事務所だよりを報告します。

昨年の熊本地震から一年と六カ月が過ぎ、少しずつではあります、特に被害が多かった益城町、南阿蘇も着実に復興が進んでいます。地震後に発生した交通量の多い幹線道路の地割れ、陥没等は整備され、現状は幹線道路から一本入った道路に整備が移りつつあります。地震直後は交通渋滞が多少ではありましたが、緩和されるようになり、また、建物も公費解体が進み、益城町などは空き地が目立ち、目に映る建物の崩壊の恐怖はなくなりましたが、それは別の淋しさの感情が湧き出てきます。

さてそんな中、地震直後から地元ハウスメーカー、設計事務所などを中心にダイレクトメール、飛び込み営業、知人の紹介など、営業で種を蒔いたものが、地震から一年後の今年の五月頃から実を結び、仕事を請負う事ができる様になりました。

今回の熊本地震に伴う矯正工事の特徴として直接弊社と被災者(施主)が契約をします。これには国の助成金(熊本地震復興基金)の仕組みがあり、地震に伴う工事金額の上限一千万円までの工事金額のうち三分の二を国の助成金、残り三分の一が施主負担となっています。弊社に見積依頼をする依頼人はこの制度を活用するため、行政から極力施工会社と直接契約を交わすようにと指導されます。そして私共は工事前に市町村役場へ施主と同行し、見積書の矯正工

事は工法の説明、工事金額の妥当性等あらゆる質疑に回答し、工事承諾されてからの工事着工になります。また、工事完了後は完了報告書を市町村役場に提出し承認されてから、施主に助成金の支払いという流れです。

依頼には熊本県や各自治体の案件もあり、一般住宅とは違い、弊社に相談依頼が来たからには、弊社でやれる精一杯の協力をし、少しでも依頼者のためになれるようにと頑張っています。

その一つに御船町の町営住宅四所帯の二階建てアパート三棟を施工しました。五月の中旬から神守研究開発センターの吉田君に現場管理での応援をお願いし、工事完了まで無事故で努めて頂きました。名古屋に妻子を残し、不慣れた土地で初めての現場管理で苦労も多かったと思いますが、本人の努力と持ち前のポジティブな性格で、元請の現場代理人や社長様に評価を受け、本人の自信にも繋がったと思います。また彼には次の工事

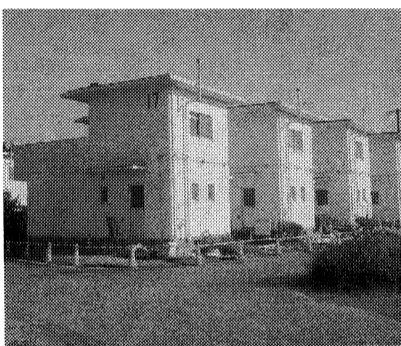
で某会社寮の宿泊施設重さ約一〇〇〇トンの矯正工事(鋼管圧入工法・部分揚げ)の現場管理として携わって貰っています。また工事が着工して二週間程で、今回はどういった試練が待ち受けているか分からず、毎日が緊張感の元、工事に奮闘しています。更に今回のジャッキアップ時には弊社の武器であるすいへいくんを使用する計画で、熊本地震では初めてのすいへいくんの現場になります。発注者様が納得のする仕上がりで完了できる様に吉田君と二人三脚で頑張っています。

またまた、熊本地震に伴う矯正工事は来年の三月頃まで工事の予定があり、これからは依頼

は増えると思われています。紙面を読んで熊本地震で建物の傾きにお困りの方が見ええした、何なりと熊本営業所までご依頼ください。

最後になりますが、協力会社雅基礎の野村社長を始め社員の皆様には、昨年の一〇月から地震で傷んだ道路での現場移動や建物の下で作業をする工事にも関わらず無事故で工事を工期通り完了する技術、どんな環境下でも弱音を吐かない精神力、施主への丁寧な対応や近隣住民への気配りもして頂き、本当に心より感謝しています。これからも工事は続きますが、皆様からでも働きやすく安全に仕事ができる様、現場の環境作りに邁進し頑張っていきますので、これからもご協力とご指導を宜しくお願い致します。

九州支店 熊本営業所
課長 瀬底 正頼



鹿児島事業所

本土最南端、鹿児島県を中心に活動する鹿児島事業所は、四年目を迎えています。

営業を開始した平成二六年は大隅半島で整備建設が進む東九州道の地盤改良工事で、深層改良工事(CDM2軸)の契約が

できました。また、平成二七年二八年度は橋梁下部工の場所

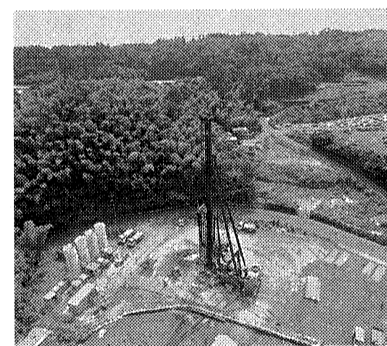
打杭や橋梁下部工の工所用橋脚仮設、単軸のスラリ攪拌改良工事、更に地滑り防止の水平水抜きボーリング等の契約が、平成二九年は西日本地区では二度目となるCDM・Land4の受注、斜面上の橋梁下部工の深礎杭等、都合七件契約に結びつきました。

この結果は、各工事に取り組み支店工務部の姿勢と頑張り、地元建設業者様に評価をされ、工事担当技術者の好評価が地元建設業界に口伝で伝わり営業活動上好循環となるため、受注拡大に結びついているものと思っ

ています。当社が一〇億企業を目指すため、当事業所の営業活動方針として「地元建設業者様から頼られ、安心して任せられる企業」として微力ながら、会社の完工に貢献して行きたいと考えています。また、「頼れる協力会社」としての立ち位置を確立するため、九州支店工務部と協力しながら、地元建設会社様に対して

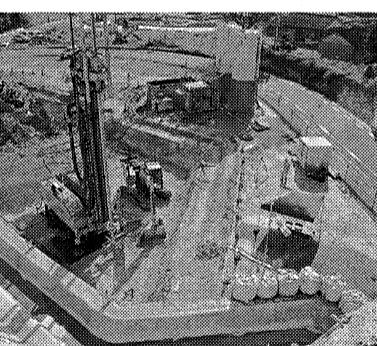
入札前、工事中の技術相談に気軽に応じる。契約工事の変更処理等適切に対応する。当事業所は誠意と情熱を持って取り組む姿勢が評価され、受注拡大の強力な後押しを地元建設会社様が受け持ってくれる関係が成立してきています。今後も九州支店の施工技術者や協力会社と協力しながら「やる気・元気・勇気」で「仕事の成果を営業の糧とする」ため、関係者が日々努力しながら成果を追求して行きたいと考えています。

最後に鹿児島事業所で施工した工事、CDM・Land4と単軸スラリ攪拌地盤改良工事を紹介します。



「工事紹介1」
CDM・Land4 施工現場
場所 東九州道(大崎~鹿屋)
鹿児島県鹿屋市申良町
発注者 国土交通省大隅河川国道事務所
施工業者 斉藤建設株式会社
施工内容 CDM・Land4
一九二セツト

「工事紹介2」
スラリ攪拌地盤改良(単軸)
施工現場
場所 東九州道(志布志~大崎)
鹿児島県志布志市
志布志町安楽地内
発注者 国土交通省大隅河川国道事務所
施工業者 山下建設株式会社
施工内容 CDMφ1600 単軸



九州支店 鹿児島事業所
中島 一成

建設技術フェアに2017 in中部に参加しました

平成二九年一〇月一八日(水)~一九日(木)の二日間、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)にて建設技術フェア2017 in中部が開催されました。出展数二七二(前年比二七)、来場者数一四五一七名(前年比一八五名)と大変多くの方が出展、来場され、活気あふれるフェアとなりました。当社は設計・施工部門で出展し、昨年と同様、地中連続壁のミニウォール工法をメインに排水量を削減できる気泡掘削工法、地中連続壁のTRD工法、建物矯正工事のすいへいくんを展示し、ミニウォール工法については会場プレゼンテーションさせて頂きました。二日目には雨が降り客足が遠のく予想でしたが、二日間とも多くの方がブースに来られ、時には職員全員が対応に追われることもありました。またプレゼンテーションにも多くの方に足を運んで頂き、今後の受注に繋がる活動ができたと思っております。会場には多くの学生が来場し

た中、当ブースには少数の学生しか足を止めなかったことを反省し、今後はブースの展示の仕方や学生が興味を引くような展示品等を考えて、このフェアで訪れた学生が当社の仲間になれるような活動ができればと思っております。来年は今年NETIS登録をした浅深4軸工法を出展予定しています。来年も多くの方が来場して頂けるよう展示内容を工夫してPRできればと思っております。最後になりますが、当社ブースにお越し頂きましたお客様にこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

名古屋支店 営業部
田中 忍

共済会だより

☆新しい仲間
一〇月一〇日
瀬戸 貴之

名古屋支店 開発部

☆出産おめでとうございます
一〇月二〇日
木下 舜斗 次男

神守研究開発センター
管理課 木下 絵理

